

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院耳鼻咽喉科における急性感音難聴症例の調査	
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年1月1日から2018年12月31日まで昭和大学病院耳鼻咽喉科を受診した急性感音難聴症例	
2. 研究目的・方法 急性感音難聴には突発性難聴、外リンパ瘻、メニエール病、機能性難聴など多彩な病態が含まれています。なかでも原因不明の突発性難聴が多く、副腎皮質ステロイドの点滴または内服加療がおこなわれるのが基本的な治療です。入院して点滴加療を行うほうが、外来通院治療より有効かどうかのエビデンスはありません。今回昭和大学病院を受診した突発性難聴症例について入院、通院治療の別で治療効果に差があったかどうかを検討致します。一方小児では突発性難聴ではなく、急性に発症する難聴には機能性難聴が多いとされています。15歳以下の小児例の急性感音難聴例については、その病態について検討します。 本研究は病院内の診療録管理室、および外来診療室にて3に記載した情報を取得します。	
研究期間 「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2020年12月末まで	
3. 研究に用いる試料・情報の種類 カルテ番号、生年月日、イニシャル、患者背景（年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）聴力検査結果（純音聴力検査、OAE、ABR、ティンパノグラム、耳小骨筋反射など）、画像検査結果（MRI、CT）、ステロイド療法に関する情報（投与薬物、用法・用量、投与期間）、転帰、CTP検査結果	
4. お問い合わせ先 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属： 医学部耳鼻咽喉科学講座 住所： 東京都品川区旗の台1-5-8 研究責任者： 小林一女	
	氏名： 小林一女 電話番号： 03-3784-8700